

令和7年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 105

千葉県立大原高等学校 全日制の課程 総合学科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名10分
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特別活動及び部活動の実績について、参考にする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを8点、cを2点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確である。また、高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 服装・態度	服装・態度や礼儀が良好である。
ウ 質疑・応答	質問に対して、適切な対応ができる。また、中学校での活動や自己の長所等を述べることができる。

(3) 作文〔30点満点〕

5名の評価者が、内容及び表現について、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、5名の評価者の評価（各6点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点 評定	面接の得点	作文の得点	総得点
135点	90点	30点	255点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。